

# 岡山地区安全指導者による パトロールでの 工夫事例と指導事項について

岡山地区安全指導者 副幹事長 石原 大蔵

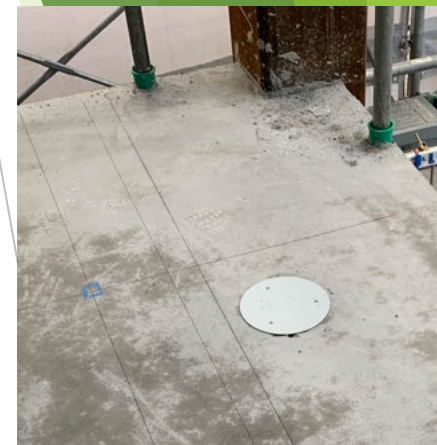
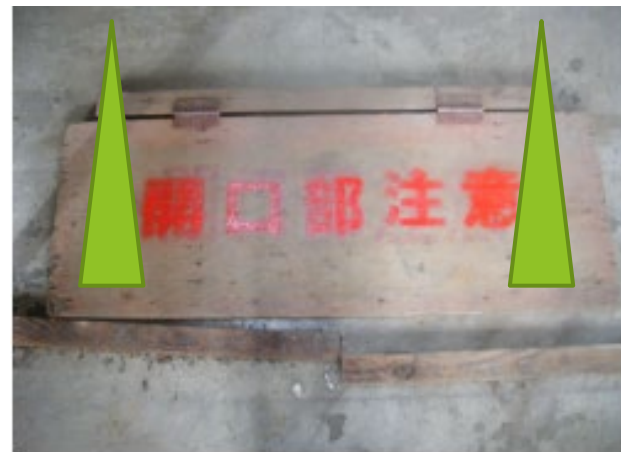
# 開口部対策・1

## (墜転落災害防止)



### 事例 1 :

- 1) 周囲を手すり・中さん・巾木で囲う。
- 2) 隙間からの墜落・物の落下対策でメッシュシートを張る。
- 3) 開口部にラッセルネットを張り、物の落下防止。
- 4) 開口部を利用する場合、作業床・ハーネスのランヤードのフックを掛ける場所を確保する。



### 事例 3 :

- ・設備の開口も蓋をする。

### 事例 2 :

- 1) 開口部に蓋をする。
- 2) 開口部の蓋のずれ止めを設置する。
- 3) 開口部表示をする（蓋を踏まない。「墜落時の高さ」を明記し、危険度を認識させる）
- 4) 型枠荷揚開口など、開閉式の丁番をつける。コーンバーを設置し、わかりやすく明示。

# 開口部対策・2

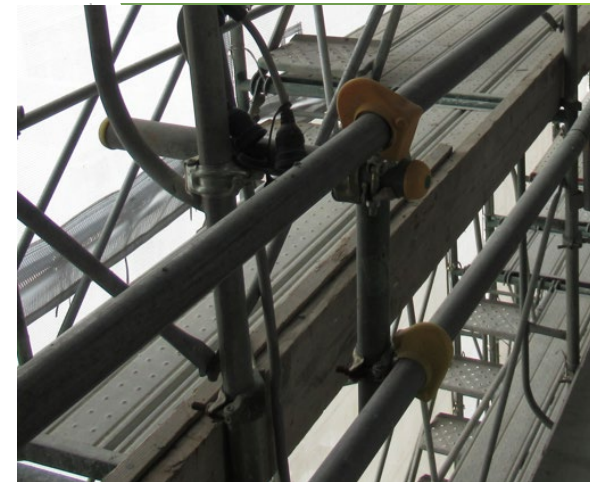
## (躯体との隙間対策)

**事例1** : 外部足場を活用し、ブラケット等で「手すり・中さん」を構成。

「ブラケット持出」



「直交クランプと単管で持出」

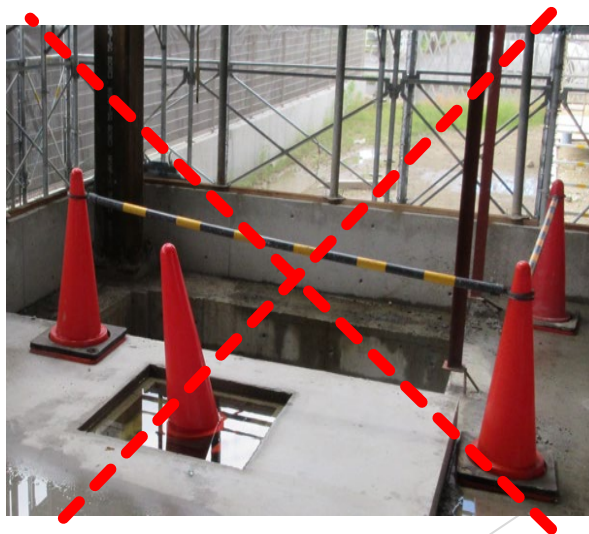


**事例2** : 先行し、さや管を溶接し、ゴムパッキンで手すりを差し込み「躯体外周の手すり」を構成。

「先行・さや管方式」



「コーンバーで区画(ピット)❌」



「トラロープで区画(ELV開口)❌」

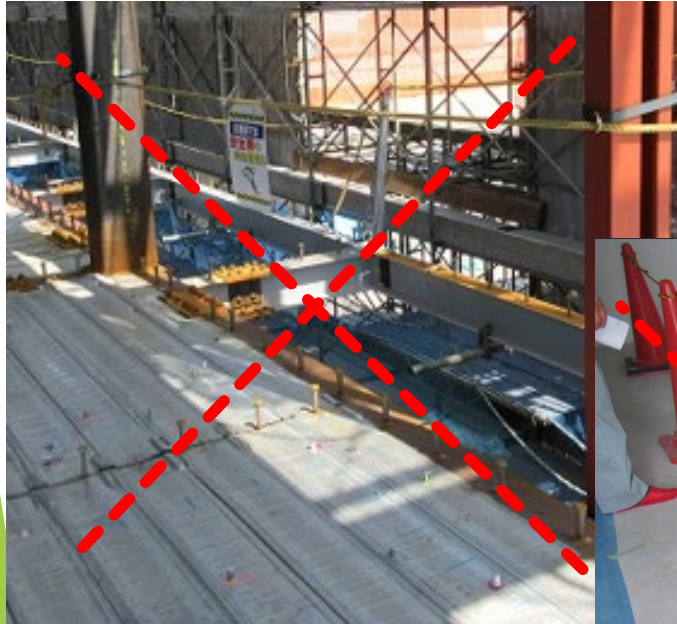


### 事例3 :

※親綱+表示、コーンバー+表示、法肩で、区画する事例が多いですが、  
一時的な対応で、しかありません。

早急に、鋼管手すり、または、A型単管バリケードなど、端部より離隔距離を確保して、  
0.85m以上の高さで区画してください。

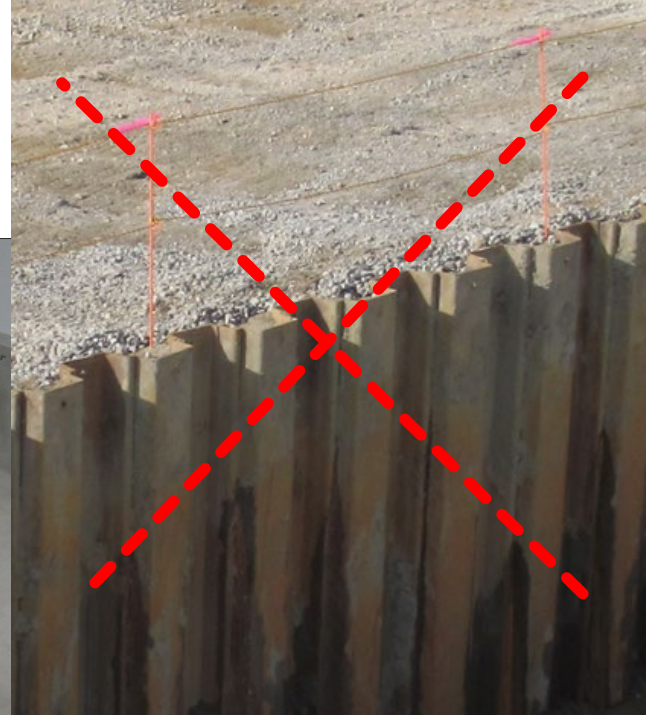
「親綱+表示で区画」



「段差で区画」



「シートパイルH300+親綱+表示で区画」



「法肩が崩れて  
手すりを超えて崩壊」



## 事例 4 :

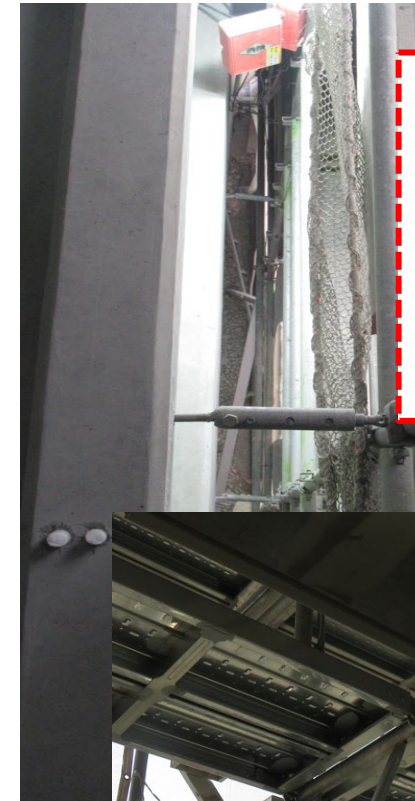
躯体との隙間 30 cm以下が基準でなく、30 cm以下でも墜落する。

リスク低減のため、最低でも2層毎に落下防止(ブラケット+柵・ラッセルネット)を

設置ください。



最下層まで、落下防止無。



ブラケット+ラッセル  
ネットで落下防止。  
ラッセルネットを  
定期的に点検し、  
ゴミなども除去し  
広げてください。



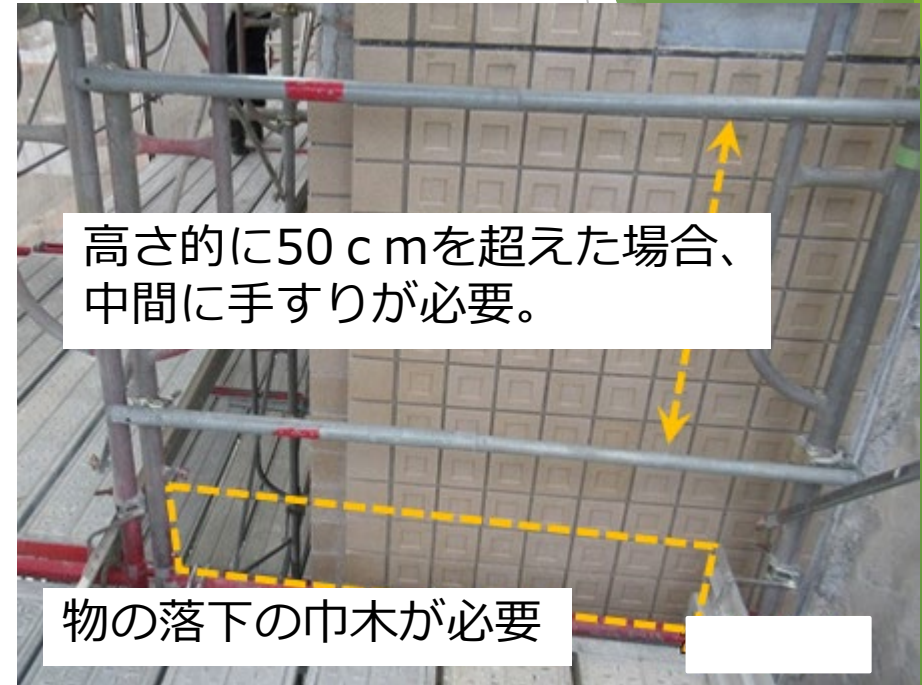
ブラケット+アンチで落下防止

# 足場対策

(手すり + 中さん + 巾木)



# 事例 1 : 足場 (手すり・中さん・巾木) を整備しましょう。



足場形式が変わると、積載荷重・作業方法に違いあり。  
ランヤードフックも常時使用義務が発生します。違いを明示・作業時啓発が必要。

## 事例 2 : 隙間なく、屋上乗り込み口を確保。 隙間なく、ステージより搬入。

「足場から持出、屋上面より  
浮かして保持」

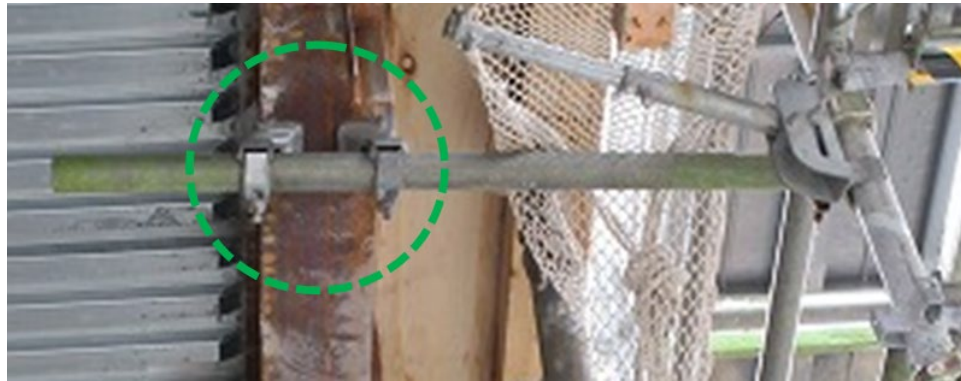


材料搬入時、隙間を埋める板を  
倒して、隙間を解消。



# 事例3：壁つなぎの形式による強度を担保し倒壊対策。

「鉄骨のフランジをダブルで保持」



「クランプで挟むだけだと番線で固定しても強度的に担保できない。」



「壁つなぎ控え」でフランジを保持。

国元商会・他

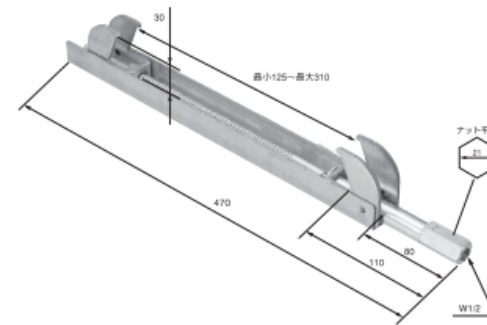
## 壁つなぎ控え (H形鋼用)

リース 販売

特長

- H型鋼から壁つなぎが取付可能になります。
- 125~300mmの幅広い調整が可能 (対応フランジ厚さ:最大30mm)

壁つなぎ控え



規格寸法

質量(kg)	適応つかみ幅(mm)	許容荷重(kN)
1.5kg	125~310 (フランジ厚さ:最大30mm)	4.41

取付方法

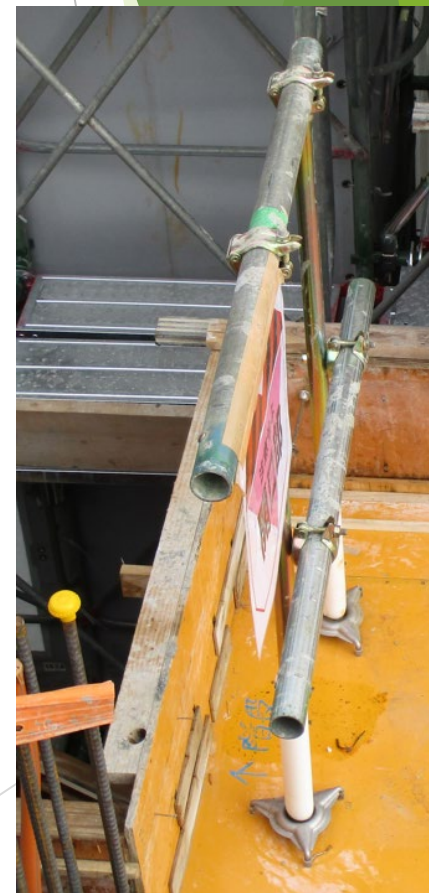
① 安全性抜群!!  
H形鋼(梁)のフランジ部に  
添わせる。



② 作業性抜群!!  
ラチェット(インパクトドライバー)  
でナットを締めて完了です。



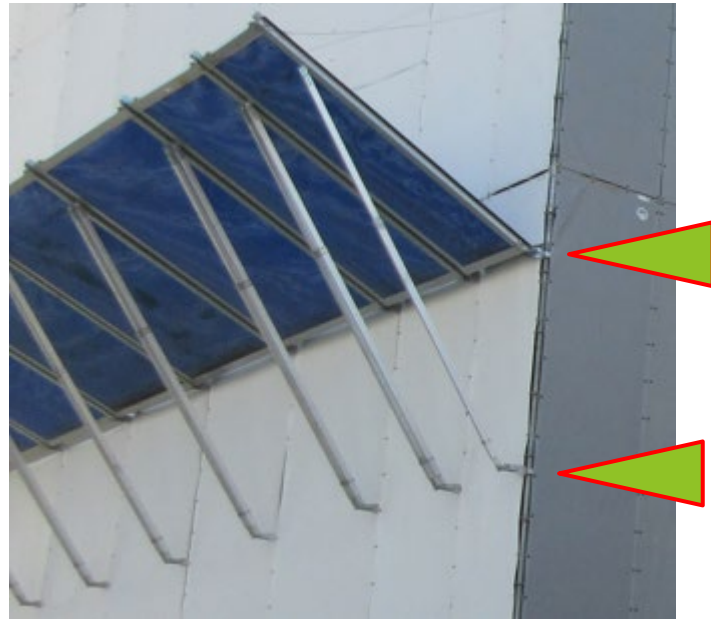
## 事例4：鉄筋コンクリート造・階段上り側、開口部対策



事例4：壁つなぎは、**風荷重 = (速度圧 × 風力係数) × 受風面積**  
から強度を算定し、耐えうるピッチで取付。



アサガオ設置部の支持部  
→ 支柱毎に壁つなぎを増設・要。



ハンガーステージ部の支持部  
→ 支柱毎に壁つなぎを増設・要。



メッシュシートと防音シートの  
違いで、透過率が上がり、風力係数が  
高くなり、風荷重が増加  
→ 壁つなぎを増設・要。

※ 88条申請時、  
足場の組立・壁つなぎを変更した場合、変更申請が必要です。

# 「転倒・段差養生」対策

事例 1 :



突起物を明示。

トラテープで、  
目立つように表示

事例 2 :

段差注意を表示。

段差が250程度になるように  
ステップを設置。ステップが転ばない  
ように固定。



事例 3 : 段差を明示。

段差部を赤表示・  
トラテープ表示





事例 4 :

高所作業車の  
車止めを設置

角材をアンカー止め。

事例 5 :

段差部にスロープを設置  
安全通路確保。



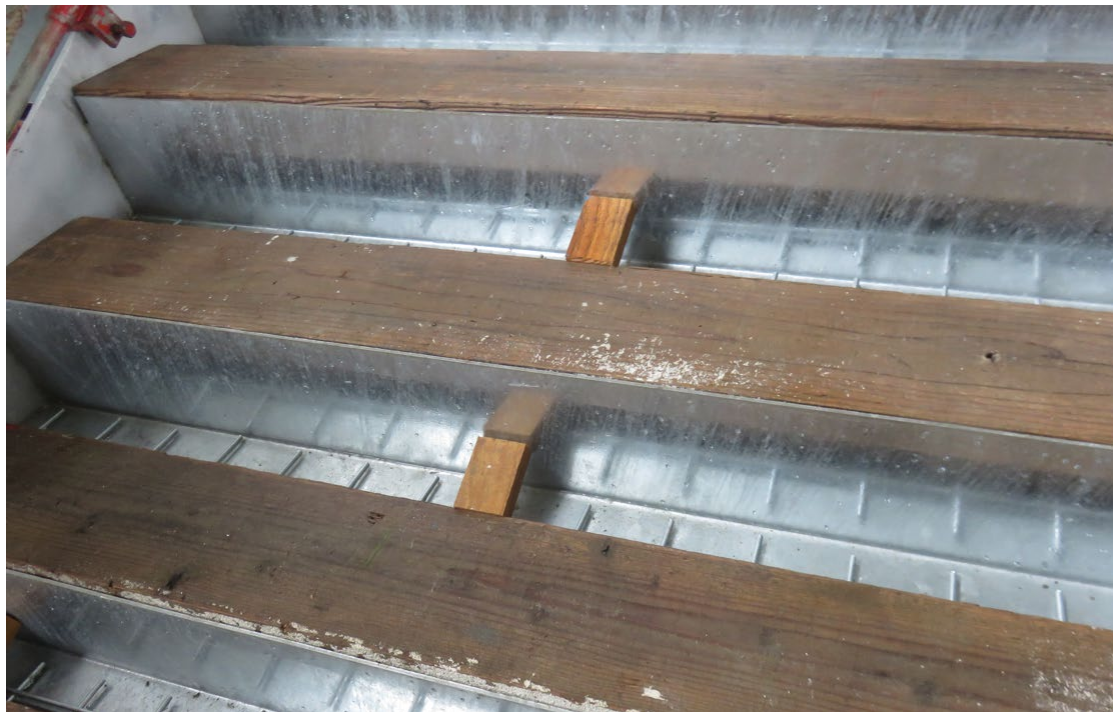
事例 6 :

段差を最小に緩和措置

ベニヤ板の厚さでの段差で  
スロープを形成。



## ※事例 7 : 鉄骨階段事例



踏面に  
コンクリート打設の場合

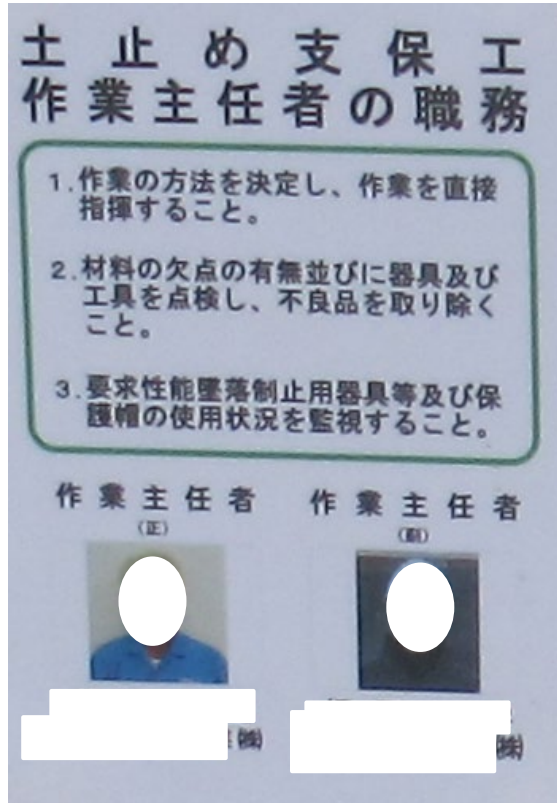
足場板を活用し段差を解消。

# 「重機との接触防止」：対策事例



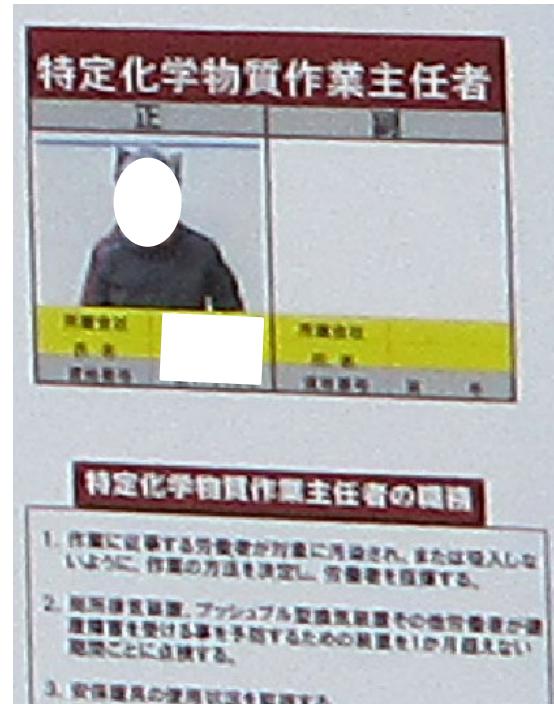
プラバーで、明示・区画  
→ 軽量で移動が楽です。

# 「作業主任者・操作者任命」：事例



職務と氏名＋  
顔写真・所属会社  
を明示。

金属アーク溶接作業に  
特化物技能講習・必要。  
(令和3年4月1日より)



金属アーク溶接等  
限定技能講習  
(令和6年1月1日より)



各種・特別教育操作者  
についても  
注意事項と氏名＋  
顔写真・所属会社を明示

# 「労務管理」 対策：事例

事例 1：進化型：新規時からクリアするとはがしていく



表を剥がすと下に隠れたコメントあり

<b>親</b> 一人親方	一人親方は残す。それ以外の労働者ははがす。
[One master]	One master doesn't peel the red seal. Other workers peel the seal.
<b>新</b> 新規入場者	新規入場時から14日(2週間)経過後にはがす。
[New face]	A new visitor peels the orange seal two weeks after newly visiting the worksite.
<b>指</b> 若手指導役	新規入場者・若手とペアになって作業を指導する者(指導役)は残す。それ以外の者ははがす。(指導する者は職長・安責者、班長、外国人技能実習指導員などのベテランが望ましい。)
[Mentor]	A mentor pairing up with a new visitor or a rookie doesn't peel the blue seal. Other workers peel the blue seal. (*A mentor is expected to be a veteran such as a foreman, Safety and Health Supervisor, a team leader and a technical intern training instructor)
<b>若</b> 職種経験者	職種経験が3年未満の者は残す。それ以外の者ははがす。
[Rookie]	A rookie who has less than three years of the appropriate job experience doesn't peel the green seal. Other workers peel the green seal.

事例 2：声掛け指導シール



- 声掛け指導シールの配布
- ▶ 新規入場時に声掛け指導シールを、ヘルメットに貼り付けること。
- ▶ ① 30歳未満の労働者
- ▶ ② 経験年数10年未満

事例 3：ヘルバンドでの識別



18歳未満・作業員

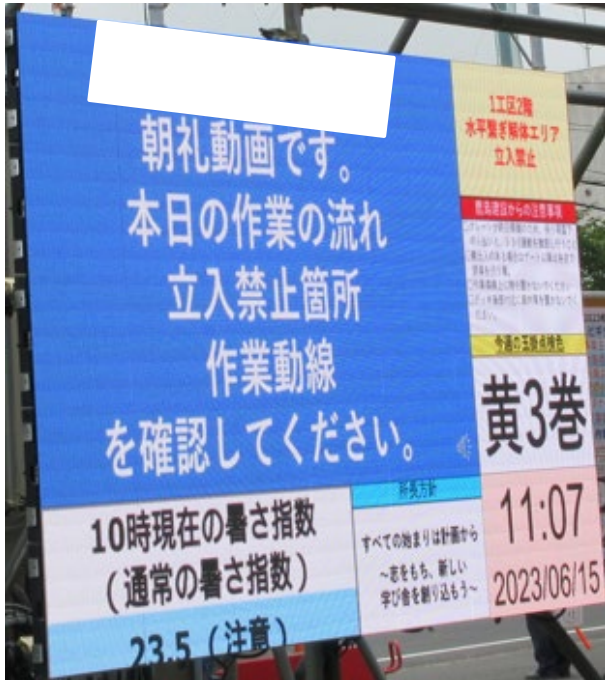


60歳以上・高齢作業員

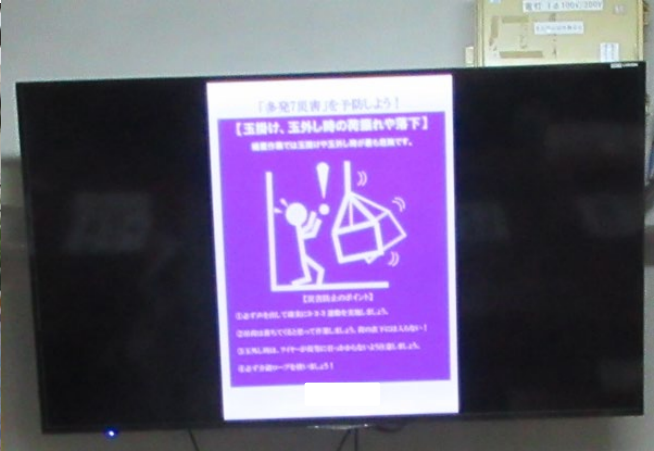


外国人・作業員

# 「働き方改革（IT活用）」：対策事例



作業所・大型モニター



休憩所モニター

## 事例1) 液晶モニター・サイネージ 活用による啓発・表示

朝礼、本日の注意事項、WBGT値・温度表示、風速通知、ワイヤー点検色、時間、イベント、現場ルール、場内の作業状況など随時表示。

事例2) ZOOM、Teams打合・会議

事例3) 仕事内容の見える化・  
サイボウズ活用、ワークボード他  
各担当・個人の負荷を把握・協力して軽減。

事例4) 4週6休+ $\alpha$ 、NO残業デー  
4週6休：毎週日曜日休場  
+ 指定2日の土曜休場

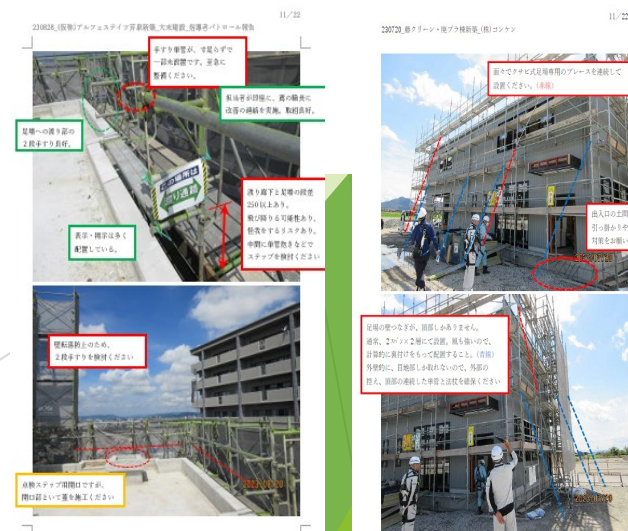
事例5) データ一元共有  
最新版データを共有するクラウドサーバ

事例6) 安全書類の電子化  
グリーンサイト、PDF他

# ●岡山地区安全指導者によるパトロールについて

- ※ 建設業協会・岡山東西分会より、7名（7事業所からの安全担当者）  
建部分会より 2名、西大寺分会より 2名 を委嘱したメンバー11名で構成。
- ※ 毎月第三木曜日を実施予定日（変更あり）
- ※ 岡山署管轄（岡山市、瀬戸内市、吉備中央町のうち旧加茂川町地域）の建設業労働災害防止協会の会員（建設業協会の会員含む）の現場指導に当たって、防止規定の順守について、指導することが、主目的です。

●岡山地区の会員各社様より、作業所の紹介をいただきますと、指導者が出向いて、作業所をパトロールさせていただきます。法規制・改善の助けにしてください。



ご清聴ありがとうございます  
ございました。

ご安全に！